

被害者と被疑者の関係性ごとの嫌疑不十分の理由（犯人の特定・犯罪の成立要件）（強制性交等罪（刑法177条前段に係るもの））

		総数	犯人の特定・犯罪の成立要件（複数該当あり）							
			被疑者不明	犯人性の認定に難あり	具体的事実の特定に難あり	性交等の認定に難あり	暴行・脅迫の認定に難あり	暴行・脅迫の程度の認定に難あり	同意の可能性あり	同意誤信の可能性あり
被害者から見た被疑者の立場	面識なし	66	30 (0)	19 (12)	12 (12)	14 (13)	6 (5)	1 (1)	9 (9)	6 (3)
	出会ったばかりの者	87	0	0	0	9 (8)	38 (31)	16 (7)	42 (36)	44 (24)
	雇用主・勤務先の上司	26	0	1 (1)	0	3 (3)	9 (8)	4 (4)	16 (14)	10 (9)
	勤務先・アルバイト先の先輩、 学校・部活動の先輩、 家庭教師又は業務上の利害 関係者、医師・施術師	24	0	0	0	3 (3)	14 (11)	5 (3)	14 (12)	13 (7)
	母親の交際相手、実父・養父、 おじ、義父又はいとこ	14	0	1 (1)	1 (0)	7 (6)	3 (3)	3 (2)	4 (4) (注2)	4 (3)
	交際相手、元交際相手又は 配偶者	26	0	0	0	3 (2)	15 (12)	3 (1)	15 (13)	11 (6)
	その他	131	0	1 (0)	1 (1)	10 (10)	51 (44)	23 (11)	80 (73)	63 (42)
	関係不明	13	4 (0)	4 (4)	0	0	2 (2)	0	2 (2)	1 (0)
	合計（注1）	387	34	26	14	49	138	55	182	152

（※）各欄の括弧書きは、被害者供述の信用性に疑問が残るとされた件数（内数）である。

（注1）被害者から見た被疑者の立場が複数の項目に該当するため、理由ごとの合計が（表2）の件数と一致しない場合がある。

（注2）「同意の可能性あり」とされた4件に、実父・養父は含まれていない。

被害者と被疑者の関係性ごとの嫌疑不十分の理由（犯人の特定・犯罪の成立要件）（準強姦性交等罪）

		総数	犯人の特定・犯罪の成立要件（複数該当あり）					同意誤信の可能性、心神喪失等の認識を欠く可能性あり
			犯人性の認定に難あり	具体的事実の特定に難あり	性交等の認定に難あり	心神喪失・抗拒不能の認定に難あり	同意の可能性あり	
被害者から見た被疑者の立場	面識なし	3	0	1 (0)	0	1 (0)	0	2 (0)
	出会ったばかりの者	26	0	0	4 (4)	11 (8)	11 (10)	4 (3)
	雇用主・勤務先の上司	8	0	0	2 (2)	6 (6)	4 (4)	4 (4)
	勤務先・アルバイト先の先輩、学習塾の塾長、医師・施術師又は業務上の利害関係者	6	1 (1)	0	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1 (1)
	実父・養父又は祖父	3	0	2 (0)	1 (0)	0	0	0
	元交際相手	2	0	0	1 (1)	1 (1)	0	0
	その他	44	0	2 (2)	11 (10)	26 (17)	14 (8)	18 (13)
	関係不明	2	0	0	0	1 (1)	1 (1)	2 (1)
	合計	94	1	5	21	48	32	31

(※) 各欄の括弧書きは、被害者供述の信用性に疑問が残るとされた件数（内数）である。

被害者が18歳未満の児童である場合における年齢別嫌疑不十分の理由(犯人の特定・犯罪の成立要件)

	被害者の総数 (名)	犯人の特定・犯罪成立要件(複数該当あり)												
		被疑者不明	犯人性の認定に難あり	具体的事実の特定に難あり	性交等の認定に難あり	暴行・脅迫の認定に難あり	暴行・脅迫の程度の認定に難あり	心神喪失・抗拒不能の認定に難あり	同意の可能性あり	監護者性の認定に難あり	淫行「させる」行為の認定に難あり	「淫行」等該当性の認定に難あり	同意誤信の可能性、心神喪失等の認識を欠く可能性あり	年齢の認識の認定に難あり
7歳	1	1 (1)	0	1 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9歳	1	1 (1)	0	0	1 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10歳	4	1 (1)	0	2 (2)	4 (4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11歳	3	0	0	1 (1)	2 (2)	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (0)
12歳	10	0	0	3 (3)	5 (4)	0	0	0	0	0	0	0	0	4 (3)
13歳	16	1 (0)	0	2 (0)	4 (3)	1 (1)	1 (1)	1 (0)	2 (1)	0	2 (0)	3 (0)	1 (1)	3 (0)
14歳	21	0	0	4 (3)	3 (2)	3 (3)	0	0	2 (2)	0	2 (0)	3 (1)	0	4 (0)
15歳	16	0	0	0	3 (1)	2 (2)	2 (1)	0	5 (4)	0	0	3 (0)	1 (1)	1 (0)
16歳	43	5 (0)	3 (0)	1 (1)	6 (5)	2 (2)	1 (1)	0	4 (4)	1 (0)	1 (0)	14 (1)	1 (1)	8 (2)
17歳	47	5 (0)	0	5 (4)	5 (5)	5 (4)	2 (1)	1 (1)	8 (7)	0	0	9 (1)	4 (2)	12 (8)
合計	162	14	3	19	33	13	6	2	21	1	5	32	7	33

(※) 各欄の括弧書きは、被害者供述の信用性に疑問が残るとされた件数(内数)である。

被害者が18歳未満の児童である場合における年齢別嫌疑不十分の理由（被害者供述の信用性）

	被害者の総数 (名)	被害者供述の信用性（複数該当あり）					捜査協力・供述を得られない
		客観証拠等と整合しない	虚偽供述の動機・記憶変容の疑い	供述に看過し難い変遷あり	あいまいで具体性を欠く	供述内容が被害に遭った者の言動として不自然	
7歳	1	0	0	0	1	0	0
9歳	1	0	0	0	0	0	1
10歳	4	0	1	2	2	0	1
11歳	3	0	1	1	1	0	1
12歳	10	0	1	2	6	1	3
13歳	16	1	0	2	0	0	2
14歳	21	2	1	5	2	4	3
15歳	16	4	2	1	1	4	4
16歳	43	5	2	3	2	4	5
17歳	47	5	8	4	2	5	9
合計	162	17	16	20	17	18	29

被害者が18歳未満の児童である場合における罪名別年齢

	総数	7歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
強制性交等罪 (刑法177条前段に係るもの)	52	0	0	0	0	0	5	6	8	15	18
強制性交等罪 (刑法177条後段に係るもの)	19	1	1	4	3	10	—	—	—	—	—
準強制性交等罪	8	0	0	0	0	0	3	0	1	2	2
監護者性交等罪	11	0	0	0	0	0	1	4	0	2	4
児童福祉法違反	13	0	0	0	0	0	2	4	0	2	5
青少年保護育成条例違反	59	0	0	0	0	0	5	7	7	22	18
合計	162	1	1	4	3	10	16	21	16	43	47

【別表2-4】

被害者が18歳未満の児童である場合における罪名別・被害者と被疑者の関係

	総数	面識なし	教師、 指導者	出会ったばかり の者	養護・介護施設 等の職員	交際相手、元 交際相手	雇用主・勤務 先の上司	学校、部活動 等の先輩	勤務先、アル バイト先の先 輩	実父母・養父母	その他尊属	母親の夫・交 際相手	その他の関係	関係不明
強制性交等罪 (刑法177条前段に係るもの)	52	17	0	4	0	3	1	2	2	1	2	5	11	4
強制性交等罪 (刑法177条後段に係るもの)	19	0	0	3	0	1	0	0	0	5	2	4	4	0
準強制性交等罪	8	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	5	0
監護者性交等罪	11	0	0	0	0	1	0	0	0	10	0	0	0	0
児童福祉法違反	15	0	1	0	0	0	0	0	3	3	0	2	6	0
青少年保護育成条例違反	64	0	1	17	1	16	1	0	0	0	0	0	23	5
合計	169	17	2	24	1	21	2	2	5	21	5	11	49	9

障害の内容ごとの嫌疑不十分の理由（犯人の特定・犯罪の成立要件）

	被害者の 総数 (名)	犯人の特定・犯罪の成立要件（複数該当あり）												
		被疑者不明	犯人性の認 定に難あり	具体的事実の 特定に難あり	性交等の認 定に難あり	暴行・脅迫 の認定に難 あり	暴行・脅迫 の程度認 定に難あり	心神喪失・ 抗拒不能の 認定に難あ り	同意の可能 性あり	監護者性の 認定に難あ り	淫行「させ る」行為該 当性の認定 に難あり	「淫行」等 該当性の認 定に難あり	同意誤信の 可能性、心 神喪失等の 認識を欠く 可能性あり	年齢の認識 の認定に難 あり
身体障害	2	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
精神障害	26	0 (0)	1 (0)	0 (0)	4 (4)	11 (10)	2 (1)	3 (1)	12 (12)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (10)	0 (0)
知的障害	25	0 (0)	0 (0)	2 (1)	8 (6)	3 (2)	2 (2)	4 (2)	8 (6)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	7 (2)	0 (0)
発達障害	7	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (1)	1 (1)
合計	60	0	1	2	14	14	4	8	23	0	2	2	21	1

(※) 各欄の括弧書きは、被害者供述の信用性に疑問が残るとされた件数（内数）である。

障害の内容ごとの嫌疑不十分の理由（被害者供述の信用性）

	被害者の総数（名）	被害者供述の信用性（複数該当あり）					捜査協力・供述を得られない
		客観証拠等と整合しない	虚偽供述の動機・記憶変容の疑い	供述に看過し難い変遷あり	あいまいで具体性を欠く	供述内容が被害に遭った者の言動として不自然	
身体障害	2	1	1	1	0	0	0
精神障害	26	12	7	2	1	7	5
知的障害	25	4	2	5	4	1	2
発達障害	7	0	1	2	1	1	2
合計	60	17	11	10	6	9	9

障害の内容ごとの被害者と被疑者の関係

	被害者の総数 (名)	被害者から見た被疑者の地位等								
		面識なし	出会ったばかり の者	交際相手・元交 際相手	雇用主・勤務先 の上司	配偶者	実父母、養父母	その他尊属	母親の夫・交際 相手	その他の関係
身体障害	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2 (注3)
精神障害	26	1	5 (注1)	2	2	1	2	1	1	11 (注4)
知的障害	25	2	1 (注2)	0	0	0	4	0	4	14 (注5)
発達障害	7	0	0	2	0	0	0	1	1	3 (注6)
合計	60	3	6	4	2	1	6	2	6	30

(注1) ナンパしてきた者、SNSで知り合った者等

(注2) いわゆる出会い系アプリで知り合った者

(注3) 被害者が日常的に利用していた送迎タクシーの運転手・障害者学校の同窓生

(注4) 過去に入院していた精神病院の看護師、入院先病院の別の患者、入所施設の別の入所者、同僚、隣人等

(注5) 入院先病院の別の患者、交際相手の友人、友人の交際相手、インターネットを通じて知り合った者等

(注6) 教育実習生・発達障害者サークル内の知人・出会い系アプリで知り合った者